



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社  
 コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 南 健治  
 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,326	25.6	140	—	51	—	41	—
25年3月期第2四半期	13,000	△41.0	△489	—	△634	—	△1,825	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 110百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,831百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.84	—
25年3月期第2四半期	△36.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	47,584	15,807	33.2	319.92
25年3月期	50,767	15,696	30.9	317.68

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,807百万円 25年3月期 15,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では26年3月期の期末配当予想額は未定であります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	19.4	700	—	400	—	300	—	6.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	51,926,194 株	25年3月期	51,926,194 株
26年3月期2Q	2,515,655 株	25年3月期	2,514,868 株
26年3月期2Q	49,410,883 株	25年3月期2Q	49,411,858 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、円安基調の継続や経済政策への期待感があるものの、欧州の債務問題、中国の経済減速不安など不透明な状況が続きました。液晶パネル業界はテレビ市場の低迷が続いていますが、中国において新規設備投資がありました。スマートフォンやタブレットなどモバイル機器の製品市場は好調であるものの、中小型パネルおよびタッチパネル分野の設備投資には慎重な動きが見られました。

半導体業界は、先端分野への設備投資は堅調に推移しました。

このような景況下、当社グループは受注活動を強化し、半導体や中小型液晶パネルでの顧客拡大を図るとともに、新成長分野への展開を進めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は16,326百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は140百万円（前年同期は営業損失489百万円）、経常利益は51百万円（前年同期は経常損失634百万円）、四半期純利益は41百万円（前年同期は四半期純損失1,825百万円）となりました。

## ②為替変動による影響

円安の進行により、当社の外貨建て受注契約案件の売上進行に伴い売上利益に対しては差益となり営業利益が増加しておりますが、一方で外貨建て資産・負債に関連して為替差損を営業外費用に計上しております。合算相殺の結果、為替差益が発生しております。

## ③セグメントの業績について

## (ファインメカトロニクス部門)

液晶パネル前工程では、中小型パネルおよびタッチパネル分野の設備投資には慎重な動きが見られるものの、対前年同期で売上が大幅に増加しました。

半導体前工程は、当初予想ほど受注が伸びず、対前年同期で売上が大幅に減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は8,889百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は160百万円（前年同期比70.4%減）となりました。

## (メカトロニクスシステム部門)

液晶モジュール工程では、アウターリードボンダ及びタッチパネル貼合装置の売上が増加しました。

半導体組立工程は、ダイボンダの拡販により売上が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は5,287百万円（前年同期比89.5%増）、セグメント損失は19百万円（前年同期はセグメント損失1,020百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,182百万円減少し47,584百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,591百万円減少し33,911百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ409百万円増加し13,672百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3,293百万円減少し31,777百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ110百万円増加し15,807百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ990百万円減少し、3,244百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,273百万円（前年同期は2,049百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少により資金が増加したことによります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は7百万円（前年同期は200百万円の減少）となりました。これは主に、有価証券の売却による収入がありましたが、有形固定資産の取得等により資金が減少したことによります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は2,341百万円（前年同期は1,473百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の返済により資金が減少したことによります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

液晶パネル業界は、一時的に中国において大型パネル分野の新規設備投資がありますが、テレビ需要が低迷し大型パネル分野の設備投資は厳しい状況が続くと予想されます。

一方、中小型パネル及びタッチパネル分野は、スマートフォンやタブレットについて設備投資が継続していくと予想されます。当社は成長分野でのコア技術を生かした新商品を投入し、売上拡大を進めます。

半導体業界は、微細化関連装置の投資は堅調と予想され、技術革新により同分野での売上拡大を図ります。

当社を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、成長分野を中心に受注を加速し、売上の拡大に向けて取り組んでまいります。また、引き続きコスト構造改革と不要不急な固定費の削減を行い、利益率の向上を図ります。

通期の連結業績予想につきましては平成25年10月17日に公表しました業績予想の通りです。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,296	3,312
受取手形及び売掛金	24,545	23,588
電子記録債権	527	—
商品及び製品	2,351	2,033
仕掛品	4,098	3,525
原材料及び貯蔵品	195	172
繰延税金資産	787	774
未収入金	522	234
その他	232	318
貸倒引当金	△54	△47
流動資産合計	37,503	33,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,433	28,434
減価償却累計額	△17,830	△18,094
建物及び構築物(純額)	10,602	10,339
機械装置及び運搬具	2,061	2,454
減価償却累計額	△1,474	△1,611
機械装置及び運搬具(純額)	586	842
工具、器具及び備品	465	503
減価償却累計額	△406	△428
工具、器具及び備品(純額)	59	75
土地	119	119
リース資産	710	604
減価償却累計額	△468	△407
リース資産(純額)	242	196
建設仮勘定	207	720
有形固定資産合計	11,817	12,294
無形固定資産		
のれん	9	—
特許権	322	344
リース資産	23	14
その他	359	306
無形固定資産合計	715	664
投資その他の資産		
投資有価証券	241	145
長期前払費用	6	7
繰延税金資産	117	196
その他	376	374
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	731	713
固定資産合計	13,263	13,672
資産合計	50,767	47,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,500	7,721
短期借入金	11,742	9,461
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
リース債務	102	80
未払法人税等	59	102
未払費用	2,021	2,107
前受金	828	503
役員賞与引当金	—	7
受注損失引当金	17	17
資産除去債務	11	11
その他	529	464
流動負債合計	23,813	21,476
固定負債		
長期借入金	2,700	1,700
リース債務	181	146
長期未払金	21	19
退職給付引当金	4,801	4,886
役員退職慰労引当金	11	9
修繕引当金	450	446
資産除去債務	33	33
長期預り保証金	3,057	3,057
固定負債合計	11,257	10,300
負債合計	35,070	31,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,995	9,995
利益剰余金	514	555
自己株式	△1,720	△1,720
株主資本合計	15,550	15,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	37
為替換算調整勘定	89	177
その他の包括利益累計額合計	146	215
純資産合計	15,696	15,807
負債純資産合計	50,767	47,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,000	16,326
売上原価	9,898	12,388
売上総利益	3,101	3,938
販売費及び一般管理費	3,591	3,798
営業利益又は営業損失(△)	△489	140
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	2	2
投資有価証券売却益	—	52
助成金収入	98	—
保険解約返戻金	—	30
その他	45	25
営業外収益合計	152	118
営業外費用		
支払利息	83	81
為替差損	180	51
その他	32	73
営業外費用合計	296	207
経常利益又は経常損失(△)	△634	51
特別損失		
事業構造改善費用	849	—
特別損失合計	849	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,484	51
法人税、住民税及び事業税	23	62
法人税等調整額	318	△52
法人税等合計	341	10
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,825	41
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,825	41



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,825	41
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△18
為替換算調整勘定	14	87
その他の包括利益合計	△5	69
四半期包括利益	△1,831	110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,831	110

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,484	51
減価償却費	699	652
のれん償却額	9	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△473	84
受取利息及び受取配当金	△7	△10
支払利息	83	81
為替差損益(△は益)	7	△10
前受金の増減額(△は減少)	136	△342
売上債権の増減額(△は増加)	2,831	1,531
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,022	△59
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,013	△734
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△52
その他	410	186
小計	△1,846	1,381
利息及び配当金の受取額	7	10
利息の支払額	△84	△82
法人税等の支払額	△126	△35
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,049	1,273
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	—	118
有形固定資産の取得による支出	△145	△64
有形固定資産の売却による収入	2	0
その他	△53	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200	△7
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,384	△2,281
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△111	△60
長期借入れによる収入	700	—
長期借入金の返済による支出	△500	—
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,473	△2,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	85
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△767	△990
現金及び現金同等物の期首残高	5,024	4,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,257	3,244

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	8,363	2,790	855	990	13,000
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2	91	—	—	93
計	8,366	2,882	855	990	13,094
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	542	△1,020	52	216	△209

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△209
全社費用(注)	△200
その他	△224
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△634

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク システム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	8,889	5,287	1,166	983	16,326
セグメント間の内部売上高又は 振替高	12	71	1	—	85
計	8,901	5,359	1,168	983	16,412
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	160	△19	29	178	348

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	348
全社費用(注)	△179
その他	△117
四半期連結損益計算書の経常利益	51

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。